福岡ブロック PTA 連合会

PTA と上部団体の関わりに関するアンケート

調査結果報告（役員経験者向け調査）

回答数 1,551 人

本アンケートは、一般会員・役員経験者・校長・教頭の 3 種類で実施しました。本資料はそのうち役員経験者向け調査の結果をまとめたものです。

1. 調査の目的

福岡ブロック PTA 連合会は、会則第 4 条に定める調査研究活動として、本アンケートを実施しました。

目的は、単位 PTA と上部団体（区市郡 P 連・福岡ブロック P 連・県 P 連）の関係について、会員・役員経験者・学校それぞれの実感を把握し、双方にとって望ましい関わり方を考える材料とすることです。

本調査は、各単位 PTA に組織の見直し（任意加入化や退会の手続きなど）を求めるものではありません。

2. 調査の概要

項目	内容
調査対象	PTA の役員・委員を経験した会員（現在役員の方、過去に経験した方）
調査方法	Google フォームによるオンライン回答（各校を通じて案内）
回答期間	2026 年 7 月 10 日〜9 月 21 日
回答数	1,551 人
地区別の回答数	筑紫区 832 人（53.6%）、宗像区 504 人（32.5%）、糸島市 127 人（8.2%）、糟屋区 88 人（5.7%）

結果を読むときは、次の点にご留意ください。

- 回答者の 85.5%は、上部団体（区市郡 P 連・福岡ブロック P 連・県 P 連）の役員・理事の経験がない方です。回答の多くは、単位 PTA の役員・委員の経験にもとづくものです。
- 参加は学校単位の任意です。無作為に抽出した調査ではないため、「回答した方の傾向」としてお読みください。
- 一部の設問（Q7a〜Q7d）は、研修会・大会に参加した方のみが回答しています。

3. 結果のポイント

1. 回答者のうち、上部団体の役員・理事の経験者は 14.5%（225 人）でした。
2. 上部団体の会議・総会に「ほぼ毎回出席している（していた）」は 12.9%、「関わったことがない」は 52.0%でした。
3. 研修会・大会に参加した方の 75.3%が「得られたものがあった」（十分・多少）と回答しました。
4. 輪番制について「公平で合理的な方法だと思う」は 11.3%、「仕方ないが、問題も多い」「好ましくない」「廃止して立候補・推薦などに」は計 61.4%、「分からない」は 27.3%でした。

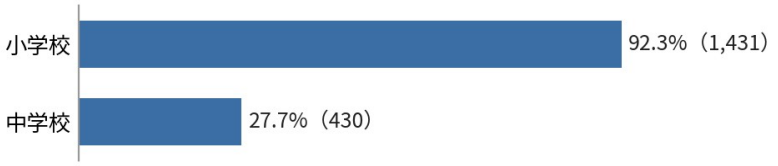
5. 上部団体の今後のあり方は「縮小・スリム化」32.5%、「解散・統廃合を検討してもよい」32.2%、「現状維持」13.2%、「抜本的に見直し」11.7%、「さらに充実」4.8%でした。
6. 上部団体の活動を保護者に「伝える方法・機会がない」は 54.0%でした。

4. 設問ごとの結果

グラフの数値は「割合（回答数）」です。割合は各設問の回答者数を分母に、小数第 2 位を四捨五入しています。複数選択の設問は合計が 100%を超えます。

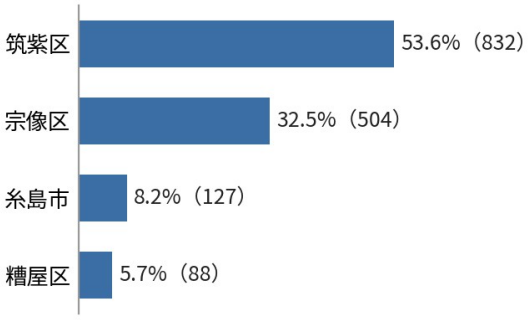
Q1. 役員を経験したときのお子さんの学校種別を教えてください（複数選択可）

回答者 1,551 人／複数選択（多い順。「特にない」等は末尾）



Q2. 学校が所属する地区を教えてください

回答者 1,551 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



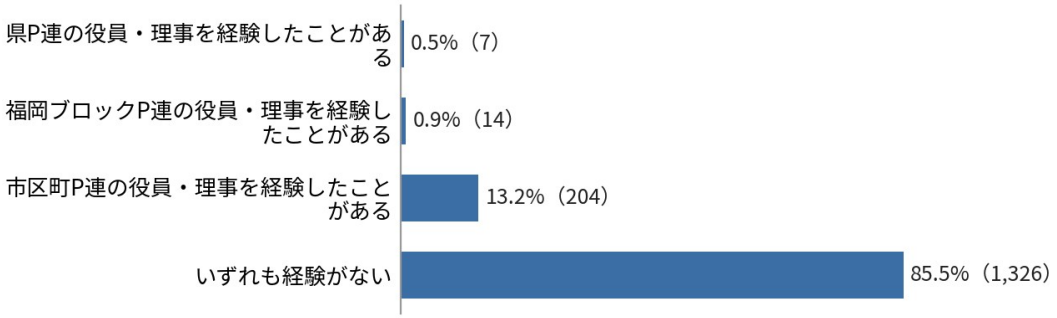
Q3. 現在の状況を教えてください

回答者 1,551 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



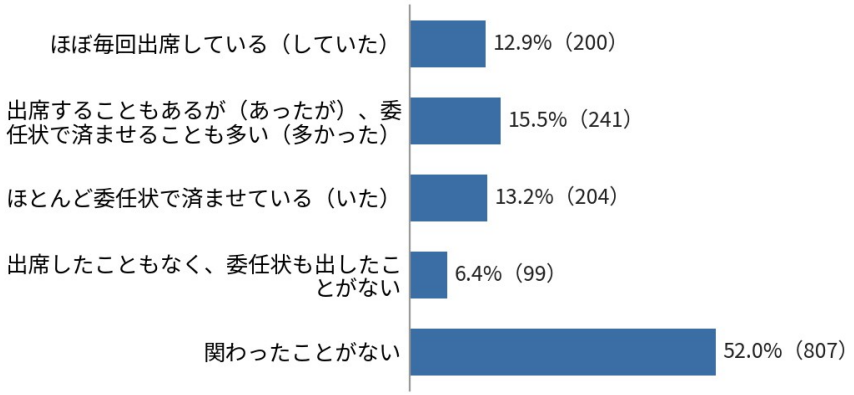
Q4. 上部団体への関与経験として、最も上位のものを選んでください

回答者 1,551 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



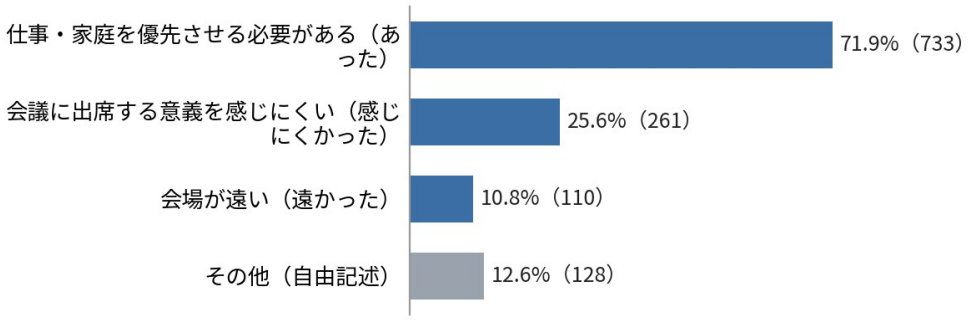
Q5. 上部団体の会議・総会への出席について教えてください

回答者 1,551 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



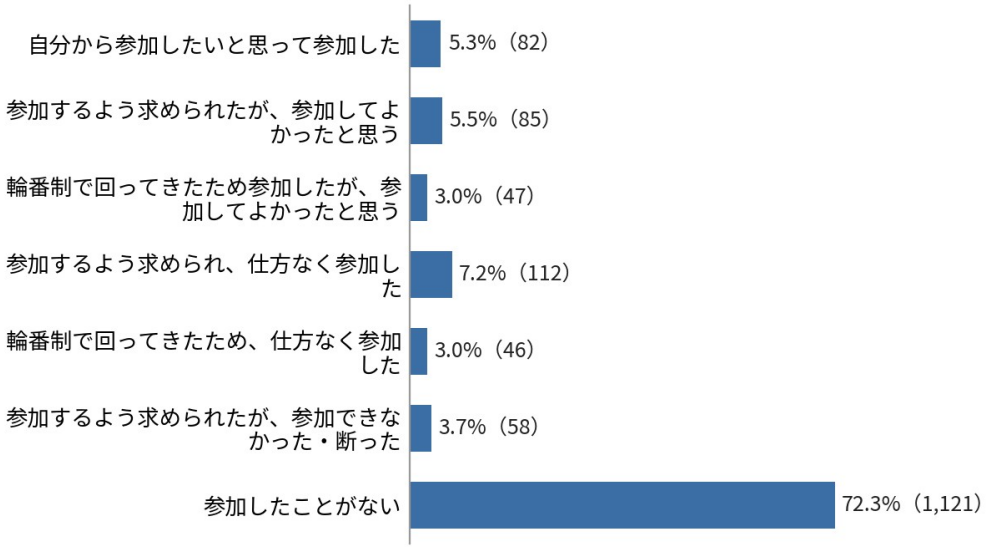
Q6. 出席しない（しなかった）ときの主な理由は何ですか？（複数選択可）

回答者 1,019 人／複数選択（多い順。「特にない」等は末尾）



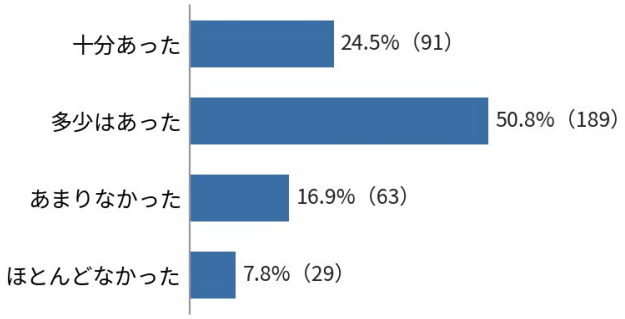
Q7. 上部団体の研修会・大会への参加について教えてください ※役員・理事としての立場での参加も含めてお答えください

回答者 1,551 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



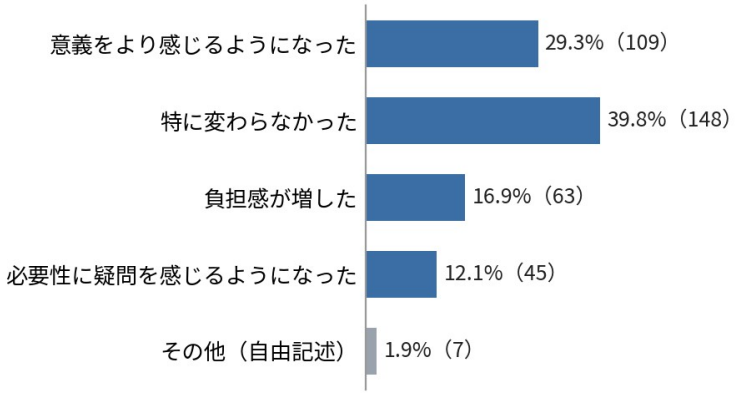
Q7a. 参加して得られたものはありましたか？

回答者 372 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



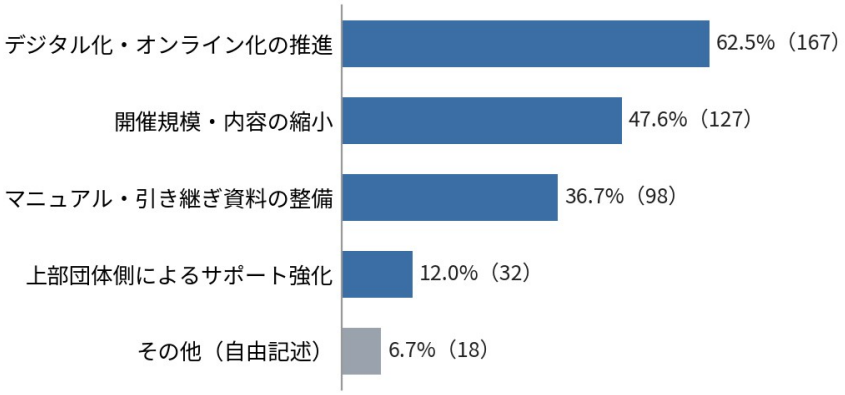
Q7b. その経験を通じて、上部団体の活動に対する見方は変わりましたか？

回答者 372 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



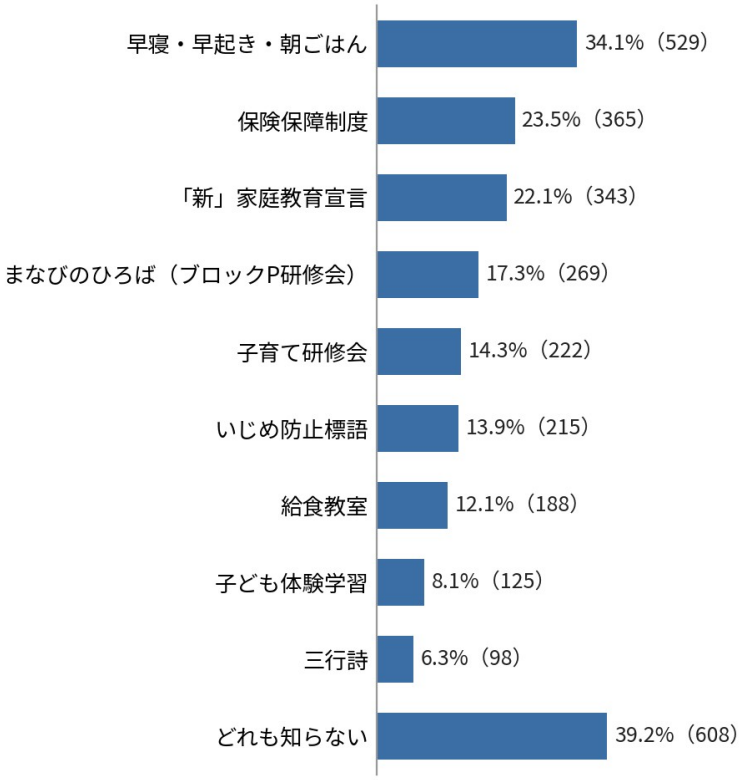
Q7c.【役員・理事としての立場で参加した方へ】上部団体の活動の中で生じる負担を軽減するために、効果的だと思うことは何ですか？（複数選択可）

回答者 267 人／複数選択（多い順。「特にない」等は末尾）



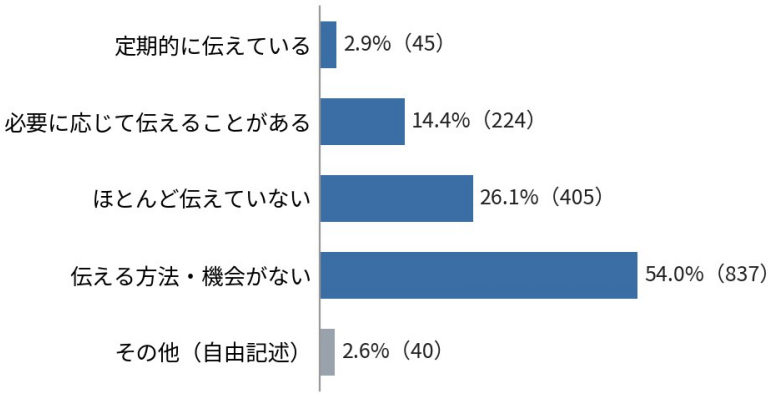
Q8. 上部団体（県Ｐ連）の活動で知っているものはありますか？（複数選択可）

回答者 1,551 人／複数選択（多い順。「特にない」等は末尾）



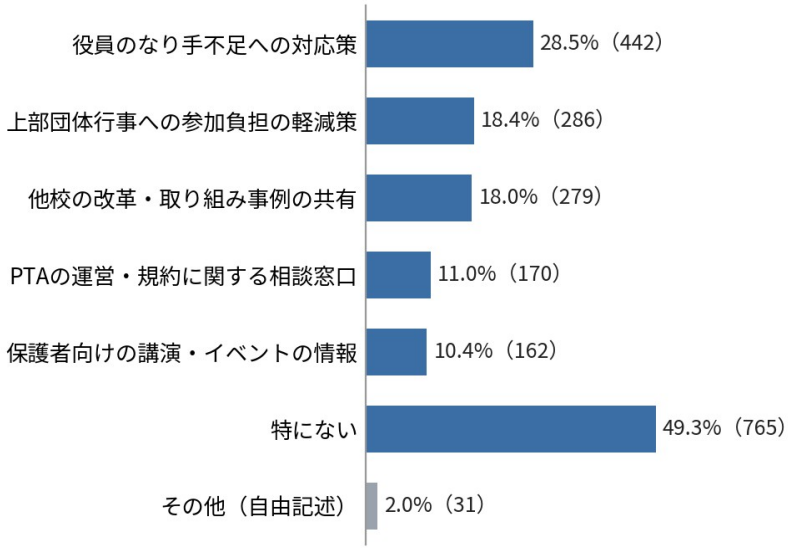
Q9. 上部団体の活動内容を、単Ｐ内の保護者に伝えたことがありますか？

回答者 1,551 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



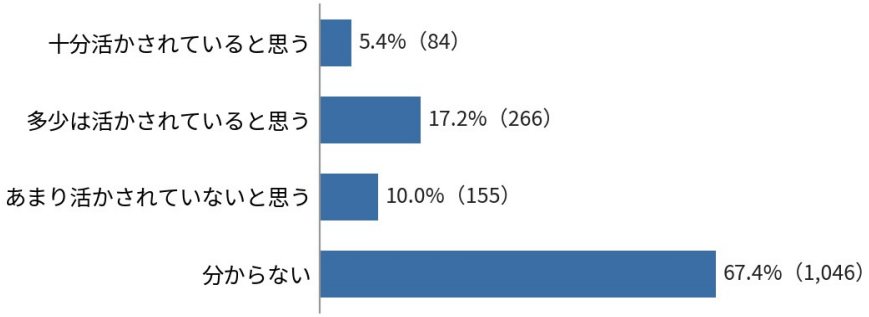
Q10. 上部団体に「こんな情報や支援があれば助かった」と思ったことはありますか？（複数選択可）

回答者 1,551 人／複数選択（多い順。「特にない」等は末尾）



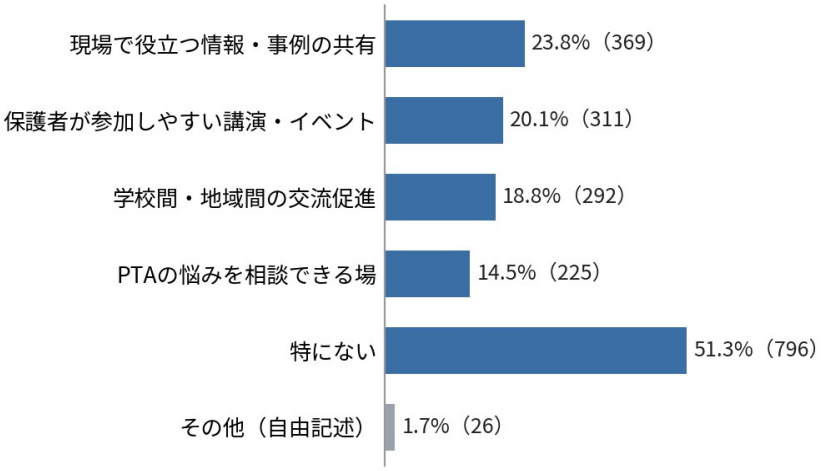
Q11. 上部団体の役員・理事を経験した方が単Ｐに戻ったとき、その経験が単Ｐで活かされていると思いますか？

回答者 1,551 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



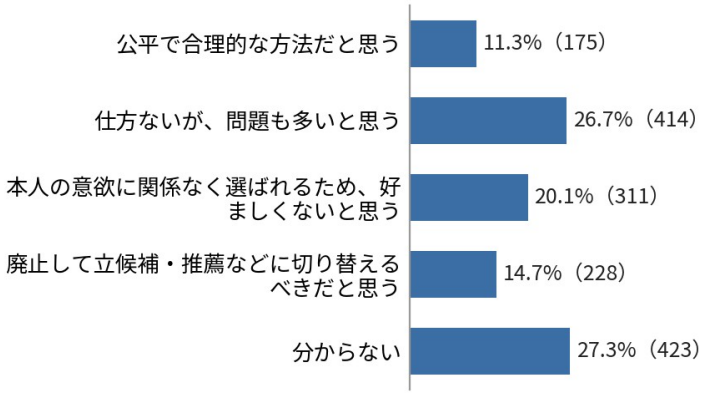
Q14. 上部団体に今後やってほしい活動は何ですか？（複数選択可）

回答者 1,551 人／複数選択（多い順。「特にない」等は末尾）



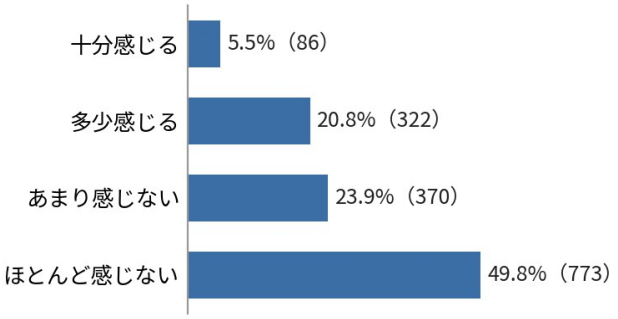
Q15. 上部団体の役員・理事・事務局当番が輪番制（順番制）で割り当てられることについて、どう思いますか？

回答者 1,551 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



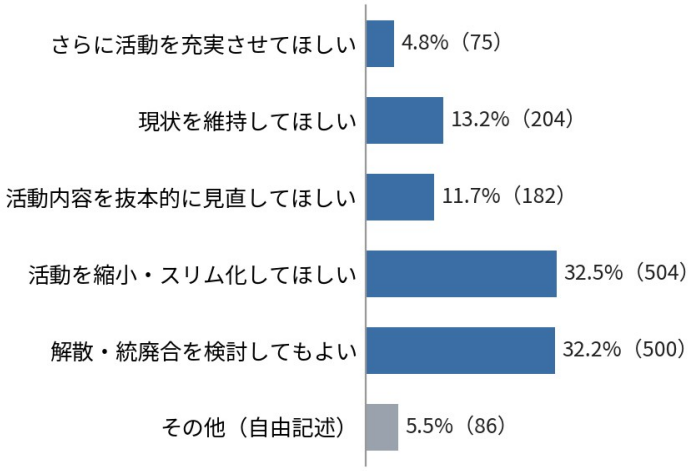
Q16. 上部団体での活動を通じて、他校・他地域とのつながりができたと感じることがありますか？

回答者 1,551 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



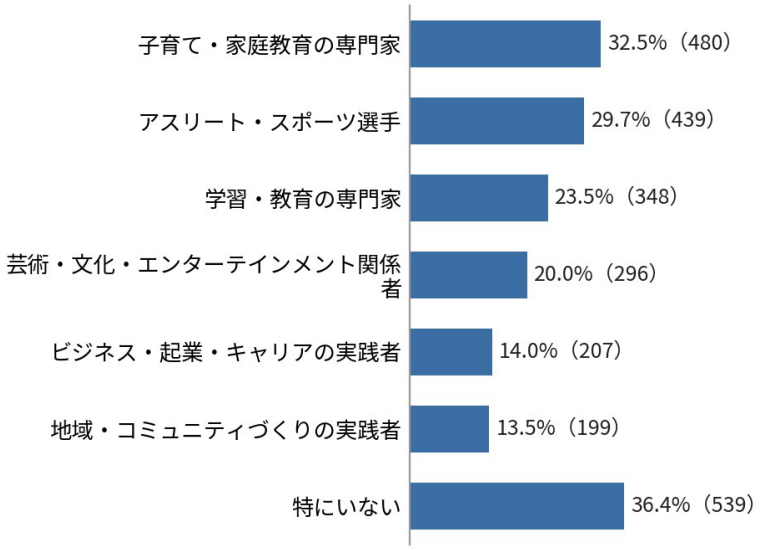
Q17. 上部団体の今後のあり方として、望ましいと思うものはどれですか？

回答者 1,551 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



Q18. 研修や講演で聞いてみたい講師の属性を選んでください（複数選択可）

回答者 1,479 人／複数選択（多い順。「特にない」等は末尾）



5. 地区別の結果（主な設問）

主な設問について、地区ごとの回答割合を示します。回答数の少ない地区は、少数の回答で割合が大きく動く点にご留意ください。

Q15. 上部団体の役員・理事・事務局当番が輪番制（順番制）で割り当てられることについて、どう思いますか？

単位：%

地区（回答数）	公平で合理的	仕方ないが問題も多い	好ましくない	廃止して立候補・推薦に	分からない
筑紫区（832）	12.3	27.4	18.1	14.1	28.1
宗像区（504）	9.3	25.6	19.6	15.5	30.0
糸島市（127）	11.0	29.1	26.8	15.7	17.3
糟屋区（88）	13.6	22.7	30.7	14.8	18.2
全体（1,551）	11.3	26.7	20.1	14.7	27.3

Q16. 上部団体での活動を通じて、他校・他地域とのつながりができたと感じることがありますか？

単位：%

地区（回答数）	十分	多少	あまり感じない	ほとんど感じない
筑紫区（832）	5.0	19.0	23.6	52.4
宗像区（504）	6.0	22.8	22.6	48.6
糸島市（127）	3.1	24.4	29.9	42.5
糟屋区（88）	11.4	20.5	25.0	43.2
全体（1,551）	5.5	20.8	23.9	49.8

Q17. 上部団体の今後のあり方として、望ましいと思うものはどれですか？

単位：%

地区（回答数）	充実	現状維持	抜本的見直し	縮小・スリム化	解散・統廃合	その他
筑紫区（832）	5.5	11.8	12.7	33.2	31.6	5.2
宗像区（504）	4.4	15.3	8.7	32.7	32.9	6.0
糸島市（127）	1.6	15.0	15.7	29.1	29.9	8.7
糟屋区（88）	5.7	11.4	13.6	29.5	37.5	2.3
全体（1,551）	4.8	13.2	11.7	32.5	32.2	5.5

6. 自由記述

Q20「PTA や上部団体について思っていることを何でも教えてください」には 239 件、Q12〜Q13（なくなったら困るもの、あってよかった場面）にも多くの記述がありました。

Q20 テーマ別の件数（239 件）

キーワードによる分類の概数です。1 件の記述が複数のテーマに入ることがあります。

テーマ	件数（割合）
PTA・上部団体の廃止・解散・不要	75 件（31%）
上部団体への言及	67 件（28%）
共働き・時間の制約	59 件（25%）
時代に合わない・見直し・簡素化	50 件（21%）
活動が見えない・説明不足	36 件（15%）
強制・くじ引き・「1 人 1 回」への疑問	36 件（15%）
できる人ができる時に・ボランティア化	28 件（12%）
感謝・肯定	24 件（10%）
外部委託・有償化	11 件（5%）

上部団体についての主な声（要約）

個人や学校が特定されないよう、趣旨を要約して掲載しています。

- 区市郡 P 連までは近隣校との情報交換の場として意義を感じるが、それより上の団体は存在意義が見えにくい（同趣旨の記述が 10 件前後）。
- 上部団体の役職が輪番で回ることを知らずに役員を引き受け、単位 PTA より上部団体の仕事に追われた。
- 研修会などへの参加者の割り当てが負担。参加したくなる内容や、オンラインでの参加にしてほしい。
- 他校の役員との交流や事例の共有が、自校の改善に役立った。
- 行政へ要望を届けるルートとして、上部団体とのつながりは必要。
- 会費が子どもたちにどう還元されているのかが分からない。
- 急激な改革ではなく、緩やかに今の時代に合った形へ変わってほしい。
- 「上部団体」「単 P」という言葉の意味が分かりにくかった。
- アンケートの結果を保護者にも公開してほしい。

「なくなったら困るもの」「あってよかった場面」（Q12・Q13）

- 挙がったものは、保険保障制度、他校との交流・情報交換、行政への要望のルート、研修会など。
- 一方で「特にない」「分からない」という記述も多くありました。

講演を聞いてみたい人（Q19）

記述 95 件のうち、2 件以上名前が挙がった方（敬称略）。

- 林修、熊丸みつ子、石田勝紀、木下ゆーき、親野智可等

7. おわりに

本調査では、上部団体のあり方について変化を求める声が多く寄せられた一方、研修会などに参加した方の多くが「得られたものがあった」と答えています。

結果は、2027 年 1 月の福岡県 PTA まなびのひろば福岡ブロック研修会の資料として活用し、単位 PTA と上部団体の望ましい関わり方を考える材料とします。

ご回答いただいた皆さまに、心よりお礼申し上げます。

福岡ブロック PTA 連合会